

教育委員長 年頭所感



教育委員長 杉浦 容子

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定という嬉しいニュースに希望と期待を抱いた区民の方も多くいらした事と思います。6年後の目標として語学力の向上、おとなしの精神、コミュニケーション力等、挑戦する課題や希望を抱いて大いに頑張つてほしいと思います。
昨年4月に開校した東京理科大学葛飾キャンパス。約4千人の学生が充実したキャンパスアメニティの中、学問・研究に取り組んでいます。学内に開館した葛飾「未来わくわく館」、小学生・中学生の希望者からなる「科学教室」。子ども達は興味、関心を強く示し意欲的に取り組んでいます。葛飾区の理科教育のレベルアップにつながるものと大いに期待しているところです。大学の有する専門性の高い施設・設備や人材と連携した事業が今、展開しつつあります。

さて国におきましては、質の高い土曜授業実施のための支援策や地域における学習やスポーツ、体験活動など様々な活動の促進のため支援策を講じることにより、子どもたちにより豊かで有意義な土曜日の教育環境構築を推進していく、など今後の方向性が示されました。
昨年6月には、「いじめ防止対策推進法」が公布されました。葛飾区では、各学校の基本となる「学校いじめ防止基本方針」の案を、各関係機関と検討しているところです。いじめ問題根絶と子どもたちが安心して楽しく学校で過ごす事が出来るよう尚一層努めてまいります。
教育委員会では、昨年12月に「かつしか教育プラン2014」葛飾区教育振興基本計画」を策定いたしました。
平成18年12月、約60年ぶりに教育基本法が改正され、国・都は教育振興基本計画を策定し、さらに平成20年3月には学習指導要領が改訂されました。
この間、少子高齢化、グローバル化の一層の進展などの社会の変化の中で、児童・生徒の学力や体力の向上、いじめ・不登校への対応、子育て・家庭教育支援などへの更なる取組の必要性が求められています。
特に東日本大震災以降、人々の絆の重要性が改めて認識され、安心・安全な教育環境と学校、家庭、地域の連携に向けた地域コミュニティの再構築の取組が重要となつています。また、長寿社会を迎え生涯を通じて学習やスポーツを続けるとともに、ボランティアや地域活動などに活かす場や機会が必要となつています。

今年度スタートする新しい基本計画は、現在取組を進めている「葛飾区教育振興ビジョン(第2次)」・「葛飾区生涯学習振興ビジョン」を、検証・評価・効果を検討した上、子どもから大人まですべての区民を対象として、中期的な葛飾の教育行政の方向性と重点的に推進する施策を示す本計画を策定したものです。学識経験者の委員長はじめ、各界の代表の方、公募委員を含め30名の委員の方々と、1年余にわたり貴重なご意見を頂きながら検討していただきました。
計画の期間は、平成26年度から平成30年度の5年間です。
計画の目標「みんなで育ちあう『かつしか』で自信と誇りあふれる人づくりを進めます」を実現するため、4つの基本方針を掲げ取組を進めてまいります。中でも区民総ぐるみで「教育II人づくり」を進めるという意味を込めて「かつしかっ子」宣言を子どもたちの意見を踏まえて策定いたしました(4ページ参照)。
また、かつしかっ子の生きる力を育む「かつしか家庭教育のすすめ」も改訂いたしました。未来の使者子ども達の健やかな成長を心から願うものです。
今年一年、区民の皆様のご理解とご指導を頂きながら全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

25年11月24日付で、杉浦 容子氏が教育委員長に就任し、塚本 亨氏が教育委員長職務代理者に指定されました。
その他の教育委員会の議案・報告事項等については、葛飾区ホームページをのぞいてください。
http://www.city.kaushika.jp



教育長 塩澤 雄一



教育委員 竹高 京子



教育委員 松本 實



教育委員 面田 博子



教育委員長職務代理者 塚本 亨